

国際地域経済特殊講義Ⅱ（アジア地域経済） Special Lecture on International and Regional Economy Ⅱ (Asian Regional Economy)	(教員名) 金子 勝規	
国際地域経済研究領域 特殊講義科目	講義科目	必修
	1 単位	2018 年度・前期
I 科目の主題 アジアの地域経済発展の諸問題を、グローバルかつローカルな複合的視角で研究した成果を講義する。すなわち、一方では地域固有のローカルな制度や要因を踏まえながら、他方では多国籍企業のアジア展開、ASEANやアジアをめぐる自由貿易地域・FTA や経済連携協定およびWTOといったリージョナルかつグローバルな国際関係や国際的な産業連関について解明し、これら双方の視角を組み合わせてアジア地域経済について講義する。 同時に、グローバルな市場経済に対抗する社会を目指す動きにも注目する。東アジアでも少子高齢化が進み、誰が高齢者を養うかという問題が顕在化してきている。地域福祉制度をどう創るかという問題はグローバリズムに対抗する論理をどう創るかという問題でもある。21世紀の東アジアの社会枠組みについても検討する。		
II 授業の到達目標 本講義においては、当該研究領域の博士課程において研究を進めるうえでの基本的な素養を涵養する。		
III 授業内容・授業計画 講義の概要は以下の通りであるが、受講者の要望によっては部分的に変更もありうる。 I 部 アジアの経済成長と金融市場の構造変動 1 アジアの経済発展と金融・資本市場の変容 ・アジア金融・資本市場の現状と問題点 ・アジアの証券市場の形成と発展 2 金融危機とアジアの経済成長 ・アジア通貨危機の原因とその影響 ・グローバル金融危機とアジア経済 II 部 東南アジアの地域統合・経済体制・福祉制度 3 東南アジアの地域統合と産業再編 ・東南アジアの経済統合 ・東南アジアの産業集積 4 東南アジアの経済体制と福祉制度 ・東南アジアの移行経済国 ・東南アジアの経済発展と社会福祉		
IV 事前・事後の学習内容 授業は基本的に受講生の作成したレジュメに基づく報告であるから、各自の事前の準備が欠かせない。		
V 評価方法 平常点（出席したうえでの、討議への参加、報告など）による。		
VI 受講生へのコメント 各自、問題意識をもって参画すること。		
VII 教材 使用教材については、開講後に受講生と相談のうえ決定する		